



■	説教 重荷を共に 現代の神学者紹介	…… 石東 岳士 …… 1
	第四回 カール・バルト	…… 小林 宏和 …… 2
	旧約聖書に聴く「十戒とは何か」(3)	…… 三好 明 …… 3
■	教会、この地とともに⑥ 沖縄伝道所 祈りに支えられて	…… 糸 正幸 …… 4
目	SDGsについて考える⑬ (目標12) どんなことでも思い煩うのはやめなさい	…… 香川 ゆり …… 5
次	次世代へのメッセージ⑩ 思い出の中から	…… 登家 勝也 …… 6
	こいのにあ 同性愛は罪か -同性愛/同性間性交を罪とする聖書テキストを読む	…… 高田 昌和 …… 6
■	こいのにあ 神学校卒業式 コロナ禍を乗り越えて	…… 山田 素子 …… 7
	こいのにあ すべてを主にささげて	…… 藤井 和弘 …… 7
	こいのにあ 旧約聖書からの子供説教	…… 谷 ナオコ …… 8
	教会ニュース	…………… 8

## 重荷を共に

わたしはそこに降って、あなたと語ろう。そして、あなたに授けてある靈の一部を取って、彼らに授ける。そうすれば、彼らは民の重荷をあなたと共に負うことができるようになり、あなたひとりだけで負うことはなくなる。

(民数記11章17節)

いし づか たけ し  
石 東 岳 士

わたしたちはだれもが大小様々な重荷を負っています。大きすぎる期待や責務、果たすべき仕事や課題、うまくいかない人間関係や病など、教え上げれば際限がありません。だれもが精神的にも肉体的にも疲れているのです。もちろんこのことは、聖書に登場する人たちも同じです。しかし彼らは、その重さに耐えきれなくなったとき、神に訴えるということを知っていました。エジプトから民を導き出したモーセには、約束の地にイスラエルの人々を導き入れるという大きな使命がありました。ところが人々はその旅の途上で食料が尽きたとき、泣き言を言い出したのです。そこでモーセは主に叫びました。「わたし一人では、とてもこの民すべてを負うことはできません。わたしには重すぎます」(14節)と。

このとき神が示された解決法は、その重荷を分け合うということでした。1人で負っていた重荷を、70人で分け合うようにされたのです。これで確かに重荷は1/70になります。しかし、それほど簡単なことなのでしょうか。わたしたちはここで思うのです。「分け合える重荷であればよいけれども、分け合えない重荷もあるのではないだろうか」と。確かにその通りです。病の苦しみはどうでしょうか。適切な医療を受けることができ、周囲の人々も病のことを理解してくれたとしても、苦しみそのものを背負うのは1人なのではないでしょうか。また、事柄の性質上秘密にしておかなければならない案件を抱

えて、人知れず苦しむこともあるでしょう。日々の仕事にしても、結局は1人ですることになってしまうものです。「分け合う」と言えば、言葉は美しいのですが、それは結局言葉の上だけのことで、本当にわたしたちが重荷に思っていることは分け合うことなどできないのではないのでしょうか。

しかし、そこで神はこうおっしゃっているのです。「あなたに授けてある靈の一部を取って、彼らに授ける」(17節)と。長老たちがモーセの重荷を担うためには、モーセの靈が分けられなければなりません。ここに、本来分け合えないはずの重荷を分け合うことができる秘密があるのです。モーセに留まっていた靈を取って、長老に分けたということは、使命を共に担う者になったということです。それは、70人の長老が、靈においてモーセと一つにされたことであるともいえます。別々の人間が靈において一つにされるとき、分け合えない重荷を分け合うことができるようになるのです。主イエスもまた72人を任命し、「行きなさい。わたしはあなたがたを遣わす」(ルカ10:3)と命じて使命を担わせられました。その使命とは神の僕として生きることです。今に生きるわたしたちもその使命を担って生きようとするなら、重荷を共に担い合うものとされ、協働の喜びに与り、感謝に満たされて歩むことができるのです。(夙川教会牧師)